Center for Pacific and American Studies (CPAS)
The University of Tokyo (UTokyo)

CPAS Symposium

アメリカ革命史研究の現在

2026年12月12日（土）

13:30－17:00

東京大学駒場Iキャンパス18号館コラボレーションルーム1

（参加登録不要）

登壇：

森丈夫（福岡大学）

「アメリカ独立革命と先住民：長期的な視点からの再検討」

鰐淵秀一（明治大学）

「独立戦争と奴隷制：奴隷反乱から複合戦争へ」（仮題）

上村剛（東京大学）・永見瑞木（大阪公立大学）

「米仏両革命の交錯：G. モリスのフランス、マルネジアのアメリカ」

コメント：中野勝郎（法政大学）、橋川健竜（CPAS）

司会：中野耕太郎（CPAS）

主催：東京大学アメリカ太平洋地域研究センター

共催：東京大学グローバル地域研究機構、科学研究費助成事業（若手研究）
「17-18世紀の北米植民地における資源開発をめぐる環境史」（代表：鰐淵秀一）

後援：アメリカ研究振興会

連絡先： res@cpas.c.u-tokyo.ac.jp